

鹿本高校SSH通信 Vol.29



東京大学先端科学技術研究センター研修

昨年12月26日(火)に東京大学先端科学技術研究センター研修に本校2年2組黒田さんと2年5組宮本さんが参加しました。2人は研究室訪問とクロストークで非常に濃い時間を過ごしました。

①並木准教授の研究室訪問



はじめにお邪魔したバリアフリー分野の並木准教授の研究室では、障がい者も大学などで学べる環境作りのために様々なものを開発されていました。

その例として、VRで実験室を体験できるアプリ作り(左図)や“Kachaka”というAIアシスタントを用いた家具を移動させる装置(中央図)を紹介していただきました!

生徒も楽しみながら体験しました!!

続いて伺った生命知能システム分野の神崎名誉教授・光野准教授の研究室では、昆虫においてセンサーを活用した探索ロボットの開発をされていました。

全く動かなかった雄のカイコガにフェロモンという化学物質をかけた途端にバタバタと動き出しました。(中央図)このように昆虫が持つセンサーの感度は非常に高く、これを探索に利用できないかと考えられていました。



最後には、自分の筋肉を使ってロボットに指示を出すことを体験しました!(右図)

②神崎名誉教授・光野准教授の研究室訪問



③先端研クロストークへ参加してみても

人は理性だけのつながりは脆く表面的なものになってしまいがちですが、直感や本能的なつながりは強く残るため、理論的に物事を見ることも大切ですが、感性も磨いていきたいと思いました。(黒田さん)

日本科学未来館見学



科学未来館は、自分の考えていたこととは異なる考え方や課題解決の方法を知ることができてとても面白かったです。iPS細胞や老いの多様性について知ることができました。(宮本さん)

